

アステラスの持続可能な調達宣言



はじめに



調達とは、全社的なコラボレーションや取引先との供給ネットワークにおける価値創造を促進する上で極めて重要な役割を果たします。アステラスは、グローバルな持続可能な調達フレームワークの構築により、利害関係者の利益と、地球と患者さんの健全な未来のための持続可能なアプローチを強化することに取り組んでいます。この宣言は、サステナビリティに対するアステラスの揺るぎない取り組みを反映しています。従業員と取引先の皆様は、この重要な取り組みに参加していただきますようお願いいたします。



ポール・オニール
Senior Vice President,
Head of Procurement



アステラスの経営計画2021では、戦略目標4として「サステナビリティ向上の取り組み強化」を設定しました。調達部門は、取引先との供給ネットワーク全体に誠実さを根付かせ、グローバル事業全体で持続可能なソリューションを実現させるために中央主導で重要な役割を果たしています。このアプローチにより、「価値」駆動型のライフサイエンス・イノベーターとしての能力がさらに高まります。



飯野 伸吾
サステナビリティ部門長

サプライヤーの取り組み:

- この宣言に記載されている持続可能な調達戦略原則を読み、理解し、これを必ず遵守します
- アステラスと取引する前またはその取引過程において、この宣言に記載されている持続可能な調達原則に反する活動があれば、それをアステラスに対して報告します
- この宣言に記載されている持続可能な調達戦略原則を参照し、(該当する場合)それをソーシング申請書に組み込みます
- 要請に応じて、この分野における取引先適格性を裏付ける証拠をアステラスに提供します。こうした適格性には以下のものが含まれますが、これらに限定されません
 - ✓ ポリシーなどの、コミットメントや基本的な考え方
 - ✓ アステラス ビジネス パートナー行動規範の遵守
 - ✓ プロセス (管理システムなど)
 - ✓ パフォーマンス (例: 温室効果ガス排出量、多様な取引先に支払われた支出など)



アステラスの取り組み:

この宣言の目的は、ビジネス パートナー行動規範 (BPCOC: Business Partner Code of Conduct)に記載されている基本原則に基づくもので、アステラスの従業員および/またはアステラスの代理として調達活動を行う組織がこの宣言に従って商品およびサービスの調達に取り組むとともに、以下のことが求められます。

- この宣言を遵守すること
- この宣言とビジネス パートナー行動規範をすべてのソーシング文書に組み込むこと
- 取引先に対して取引を発注するにあたり、取引先選定作業文書に記載されている適切な環境、社会、ガバナンス (ESG : Environment, Social and Governance) 選択基準およびそれに対応する重み付けを適用すること
- グローバル サプライヤーリレーションシップマネジメントフレームワークを通じて取引先と協力し、サプライヤーがアステラスの ESG 要件を満たし、革新的なソリューションを獲得できるようにすること
- 選択された ESG 原則全体において取引先のパフォーマンスとリスクを定期的に評価、監視すること

アステラスの持続可能な調達

アステラスは、変化する医療の最先端に立ち科学の進歩を患者さんの「価値」に変えるためには、取引先との効率的かつ倫理的な関係の構築が不可欠であることを認識しています。適切な管理と健全な取引先との関係育成を通じて、アステラスは協力し、革新し、積極的にリスクを管理します。私たちは、バリューチェーン全体でサステナビリティ目標を達成するため、取引先とのコラボレーションを醸成していく必要があります。

アステラスのサステナビリティ方針に沿って、アステラスのグローバル調達部門は、自社の調達プロセスに環境・社会・ガバナンス (ESG) の観点を組み込むことで、価値を引き出すための持続可能な取り組みに対するコンプライアンスを、さらに上のレベルで達成しようと試みています。

ESGの観点を調達プロセスと意思決定に組み込むことで、アステラスの従業員と取引先がビジネス要件を損なうことなくアステラスのサステナビリティ目標に取り組み、貢献できるようになります。これらの観点は、5つの柱に定められ、アステラスの持続可能な調達戦略に反映されています。

持続可能な調達戦略



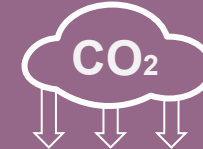
ビジネス パート
ナー行動規範
(BPCOC)



取引先の多様
性と中小企業プ
ログラム



サード パーティ
ライフサイクル
マネジメント



温室効果ガス
(GHG)
排出削減



サプライヤー
サステナビリティ
パフォーマンス

ビジネス パートナー行動規範

持続可能な調達戦略



アステラスは、すべての事業活動においてサステナビリティを追求し、高い倫理・社会・環境基準を遵守する取り組みを続けています。アステラスは、こうした取り組みを共有するとともに、社会的および環境的に責任のある方法で事業を行うサプライヤーと取引を行います。

アステラスのコアバリューに関する相互理解に基づき、サプライヤーと強固な関係を構築できると信じています。このビジネス パートナー行動規範は、以下の項目に関するアステラスの期待事項を示しています。

- 倫理的なビジネス慣行
- 人権および労働の権利の尊重
- 労働者の安全衛生の保護
- 環境保護
- 管理システムと透明性

ビジネス パートナー行動規範

アステラスは、サプライヤーが確実にアステラスの価値観を共有し、高い倫理基準と環境基準を守るよう働きかけることで社会的責任を促進しています。このため、すべてのサプライヤーは、次のいずれかの調達プロセスによりビジネス パートナー行動規範を遵守し、守るよう求められます。

- a. ソーシング プロセス: すべての関連文書に含まれるもの
- b. サプライヤー オンボーディング: アステラスのサプライヤー ライフサイクルマネジメントに統合されているもの
- c. 購入: 注文書に添付されるアステラスの契約条件、ならびにすべての契約テンプレートに組み込まれているもの

アステラスは、すべてのサプライヤーに以下を期待します。

- ✓ 適切なチャネルを通じてアステラス ビジネス パートナー行動規範に従い、これを遵守すること



アステラスの目標:

2025 年度末までにすべてのサプライヤーがビジネスパートナー行動規範を遵守すること

取引先の多様性と中小企業プログラム

持続可能な調達戦略



アステラスの多様性と中小企業プログラムは、従来は除外されていた幅広いサプライヤグループに積極的に関与し、彼らが、より公平な市場シェアを獲得できる機会を創出することを目的としています。アステラスでは、包括的な供給基盤が組織と顧客にもたらす価値を認識しています。

アステラスが提携する権利擁護団体のサポートにより、アステラスはソーシング活動において多様なサプライヤーや中小企業を特定、認定、契約できるようになりました。

アステラスでは、公平性と包括性への取り組みの一環として、多様な供給基盤を奨励し、積極的に受け入れています。これは、科学の進歩を患者さんの「価値」に変えるというアステラスのビジョンにおいて、多様な個人や企業が人種、国籍、ジェンダー、年齢に関係なく役割を果たせるようにすることを目的としています。アステラスは、多様なサプライヤーが独自のバックグラウンドと経験をもたらし、アステラスの価値あるエコシステムにとって重要な貢献者となることを認識しています。

取引先の多様性と中小企業プログラム

アステラスでは、多様性と社会的調達の取り組みを拡大しており、現在「アステラス サプライヤーの多様性と社会的調達プログラム」の正式な導入に向けて取り組んでいます。こうした取り組みは、社会に貢献し、信頼とコラボレーションを鼓舞することで、地域社会にプラスの影響をもたらすモデルに進化するアステラスのサステナビリティに関する取り組みと、アステラスの潜在的なサプライヤーとして適格性のあるすべての企業に公正かつ公平な機会を提供するというアステラスの方針に従って実施されています。このプログラムは、従来除外されていたサプライヤーグループをより幅広く受け容れて、これらのサプライヤーに成長と発展の機会を創出することを目的としています。このプログラムは、まず米国に注力し、今後数年間で他の国にも拡大していく予定です。

アステラスは、主要サプライヤーに対して以下を行うよう奨励しています。

- ✓ 中小企業またはサプライヤー多様性に関するプログラムを実施し、関連する有効な第三者認証を共有する
- ✓ 自社のサプライチェーンに社会的調達について実践し、地域社会に付加価値を生み出すソリューションを提供する

アステラスは、多様性のあるサプライヤーや中小企業が所有するサプライヤーに対して以下を行うよう奨励しています。

- ✓ 関連する有効な証明書を提供することで、多様性がある、または中小企業であることを自己証明する
- ✓ 年度内に分類が変更される場合は、アステラスに対して適時に通知する



アステラスの目標:

サプライヤーの多様性と社会的調達の対象範囲を 2025 年度末までに米国以外の地域にも拡大すること

および

多様性および中小の企業への支出を前年比で増額すること

サードパーティ ライフサイクルマネジメント

持続可能な調達戦略



サードパーティライフサイクルマネジメント (TPLM: Third Party Lifecycle Management) は、プランニング、デューデリジェンス、契約、継続的メンテナンスと移行を含む、ビジネスパートナーとの関係のすべての段階をカバーするリスク低減フレームワークです。このプロセスの目的は、サードパーティの広範なネットワークの特定、契約、管理、監視に関する透明性と一貫性を高め、次の領域のすべてにおけるサプライヤーのリスクに積極的に対処、低減することです。

- 支払い能力
- 贈収賄腐敗行為防止 (ABAC: Anti-Bribery and Anti-Corruption)
- データセキュリティ
- データプライバシー
- 労働者の権利
- 環境安全衛生 (EHS: Environment Health & Safety)

サードパーティライフサイクルマネジメント

サードパーティライフサイクルマネジメント (TPLM: Third Party Lifecycle Management) プログラムは、アステラスが拠点を置く世界の国々で管理されていますが、地域によってプロセスに多少の違いがあります。

サプライヤーは、アステラスのビジネス目標に直接関連する適切な基準（価格、商品またはサービスの品質、能力、過去のパフォーマンス、評判、サステナビリティなどを含むがこれらに限定されない）に基づいて選定されます。

TPLM は、サプライヤーとの関係が以下であるよう監視するために使用されます。

- 通常は商品やサービスの契約時に開始されるが、関係のさまざまな段階が対象となる
- リスクが特定され次第、是正するとともに、リスクが発生する前に適切に管理することに役立つガイドランスが含まれている
- アステラス事業全体のセキュリティとレジリエンスの向上に貢献する
- 全体的な規制遵守に対応する
- サードパーティとのインタラクティブなコミュニケーションを強化する
- グローバルなポリシーと手順に準拠する

サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ サードパーティアンケート (TPQ: Third Party Questionnaire) にタイムリーに回答する
- ✓ 必要に応じて追加で要求された文書を提出する



当社の目標:

**TPLM プログラムをアステラスの
全関連会社で統一的に実施し、
継続的に改善すること**

温室効果ガス排出量削減

持続可能な調達戦略



パリ協定に準拠した方法で温室効果ガス (GHG) 排出量を削減し、2050 年までに GHG 排出量ネットゼロを達成するには、サプライヤー パートナーシップを形成するとともに、サプライヤー イノベーションの醸成と価値最大化を促進する適切な能力と戦略が必要となります。

このフレームワークを作成することで、調達部門とサプライヤーは、エネルギー使用量、GHG 排出量、GHG とエネルギーに関連するコストの全体的な削減に寄与し、温室効果ガスやエネルギー関連のリスクを低減できるようになります。

温室効果ガス排出量削減

調達部門は、スコープ 3 排出の高リスクなカテゴリーのホットスポット(エネルギーや事象の発生が特に高い値を示す地点)をターゲットとし、サステナビリティ目標と足並みをそろえるため、サプライヤー・リレーションシップ・マネジメント(SRM)フレームワークを通じてバリューチェーン内のサプライヤーおよびステークホルダーと協力する方法を引き続き模索しています。

調達部門は、効果的な関係管理とオープンなコミュニケーションにより、サプライヤーが強力なパートナーシップを通じて、サステナビリティ目標に取り組むことができるよう奨励しています。

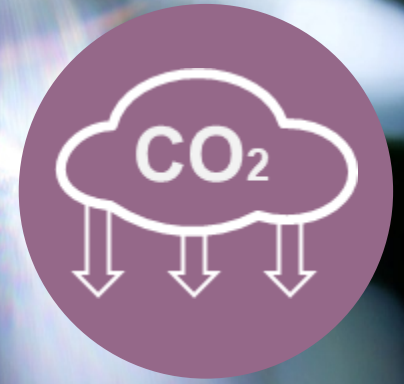
スコープ 3の排出量削減は、サプライチェーンの材料、資源、エネルギー使用の効率化と最適化に直結します。

スコープ 3の排出量はアステラスの重点分野の 1 つであるため、調達部門は、サプライチェーン全体だけでなくそれ以外においても温室効果ガス(GHG)排出量の可視性と透明性を実現する必要があります。

これには、購入した商品やサービスの GHG 排出量の追跡や、バリューチェーン内のサプライヤーとの緊密な連携が含まれます。

アステラスは、サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ アステラスのGHG排出量ネットゼロ目標に貢献する革新的なソリューションを提供する
- ✓ フットプリント データを測定し、開示データをアステラスに報告、提出する
- ✓ アステラスと協力してサプライヤーとそのサプライチェーンの二酸化炭素排出量を削減する



アステラスの目標:

2030 年までにスコープ 3 排出量の 37.5% 削減を達成すること

および

2050 年までにGHG排出量ネットゼロを達成すること

サプライヤー サステナビリティ パフォーマンス

持続可能な調達戦略



アステラスのサプライヤー ポートフォリオのサステナビリティレベルについてさらに把握するために、主要サプライヤーに関するデータを収集し、サステナビリティへの取り組みを評価し、必要に応じてパフォーマンスの改善を推進します。アステラスのグローバル サプライヤー・リレーションシップ・マネジメント (SRM) フレームワークの一環として毎年実施される、サプライヤーのセグメント化の取り組み結果に基づき、対象となる主要サプライヤーを特定することができます。

著名な世界的プロバイダー (例: CDP、SBTイニシアチブ など) が開示した 主要なサステナビリティ データを入手し、ESG 評価を実施します。そして、アステラスは、方針、行動、結果を通じて、サステナビリティに関するプロフィールの品質を評価し、主要サプライヤーのパフォーマンスを測定、追跡します。

サプライヤー サステナビリティ パフォーマンス

アステラスは、サプライヤーの信頼性、コンプライアンス、サステナビリティへの取り組みを評価します。サステナビリティを評価するために、アステラスは、サプライヤーに対し、以下に定める方法の1つ以上によりサステナビリティ原則に従って事業を行っていることの確認を求めています。すべての結果はパフォーマンス ダッシュボードに取り込まれ、追跡されます。

サプライヤーは、こうした評価の結果に基づいてサステナビリティ パフォーマンス スコアを受け取ります。スコアが最低閾値を下回っている場合、サステナビリティ パフォーマンスの改善計画を策定、実行のためにサプライヤーと協力します。

対応する最低閾値の客観的な基準/適格性は、調達部門と内部利害関係者が協力して相互に構築します。

アステラスは、サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ 持続可能な影響を十分に理解し、必要と思われる点について改善に努める
- ✓ 環境、社会、ガバナンス(ESG)を含むさまざまな側面でのパフォーマンスを評価する完全なチェックリストおよび/または質問票を完成させる
- ✓ 開示されているサステナビリティ パフォーマンス評価を提供する。または、評価を受けて、それに応じてサステナビリティ パフォーマンスを継続的に改善することに努める
- ✓ サプライヤーの事業におけるサステナビリティ原則の遵守を検証するために、アステラス、またはアステラスの代理として権限を与えられた第三者がサプライヤーに連絡したうえで、一般的な機密保持義務を条件として、現地調査を要求する場合にこれに協力する



アステラスの目標:

2025 年度末までに主要サプライヤーの 80% について評価を完了すること

および

アステラスが評価した主要サプライヤーの 75% が、2030 年度までに当社の最低スコア閾値を上回るパフォーマンスを達成すること

持続可能な調達戦略はアステラスのESG 優先事項を定め、かつ、サステナビリティ部門と連携して開発された 5 つの柱に基づいています

すべてのサプライヤーに以下のことを求めます。

適切なチャネルを通じてアステラス ビジネス パートナー 行動規範を遵守する

サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ 持続可能な影響を十分に理解し、必要と思われる点について改善に取り組む
- ✓ ESG を含むさまざまな側面でのパフォーマンスを評価するチェックリストおよび/または質問票を完成させる
- ✓ 開示されているサステナビリティ パフォーマンス評価を提供する、もしくは評価を受けてそれに応じてサステナビリティ パフォーマンスの継続的改善に取り組む
- ✓ 自社の事業におけるサステナビリティ原則の遵守を検証するためにアステラス、またはアステラスの代理として行動する権限ある第三者からの現地調査の要請に、一般的な機密保持義務を条件として協力する

サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ アステラスの温室効果ガス(GHG) 排出量ネットゼロ目標に貢献する革新的なソリューションを提供する
- ✓ フットプリント データを測定し、開示データをアステラスに報告、提出する
- ✓ アステラスと協力してアステラスおよびそのサプライチェーンの二酸化炭素排出量を削減する



BPCOC の
100% 遵守



サプライヤー サ
ステナビリティ パ
フォーマンス

持続可能な調達戦略

ESG 原則を当社のグローバル調達プロセスと意思決定に組み込む
(宣言書)



グローバル サ
プライヤーの多
様性

主要サプライヤーに以下のことを奨励しています。

- ✓ 中小企業またはサプライヤー多様性に関するプログラムを実施し、関連する有効な第三者認証を共有する
- ✓ 社会的調達の実践を自社のサプライチェーンに組み込み、地域社会に付加価値を生み出すソリューションを提供する

多様性あるサプライヤーや中小企業のサプライヤーに以下のことを奨励しています。

- ✓ 関連する有効な証明書を提供することで、多様性があること、または小規模であることを自己証明する
- ✓ 年度内に分類が変更された場合に適時にアステラスに通知する



グローバル
TPLM プロセス

サプライヤーに以下のことを求めます。

- ✓ サードパーティ アンケート(TPQ:Third Party Questionnaire)に適時に回答する
- ✓ 必要に応じて追加で要求された文書を提出する